資料５

困難の中に、機会がある

～コロナ禍の教育活動～

令和４年１月24日（月）

大阪府立夕陽丘高等学校　校長　網代　典子

令和2年度

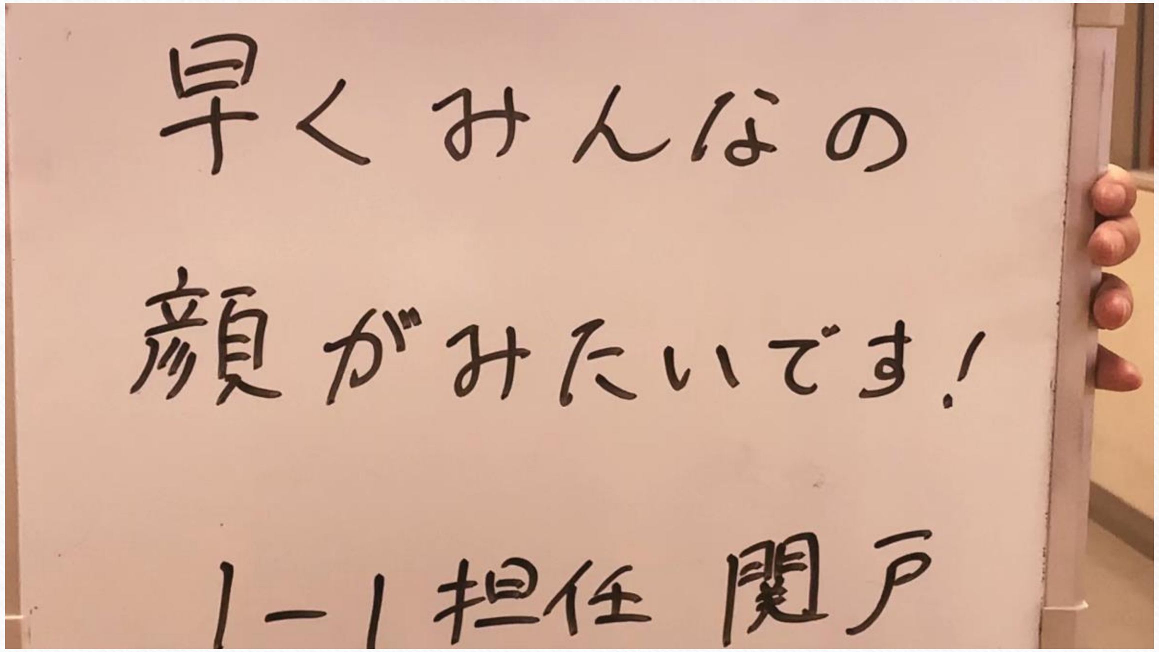
臨時休業から始まる

4月8日
始業式・入学式

- 臨時休業が延長され、先行きの見えないなかで不安に
- 新入生は友達も先生もわからないまま
- 新入生との主な連絡手段は電話とホームページ（一方向）
- 学習支援クラウドサービスの活用

4月8日
始業式･入学式

- 臨時休業が延長され、先行きの見えないなかで不安に
- 新入生は友達も先生もわからないまま
- 新入生との主な連絡手段は電話とホームページ（一方向）
- 学習支援クラウドサービスの活用



学習支援（休校期間中）

・課題の郵送

・時間割を設定し、学校ＨＰで学習指示

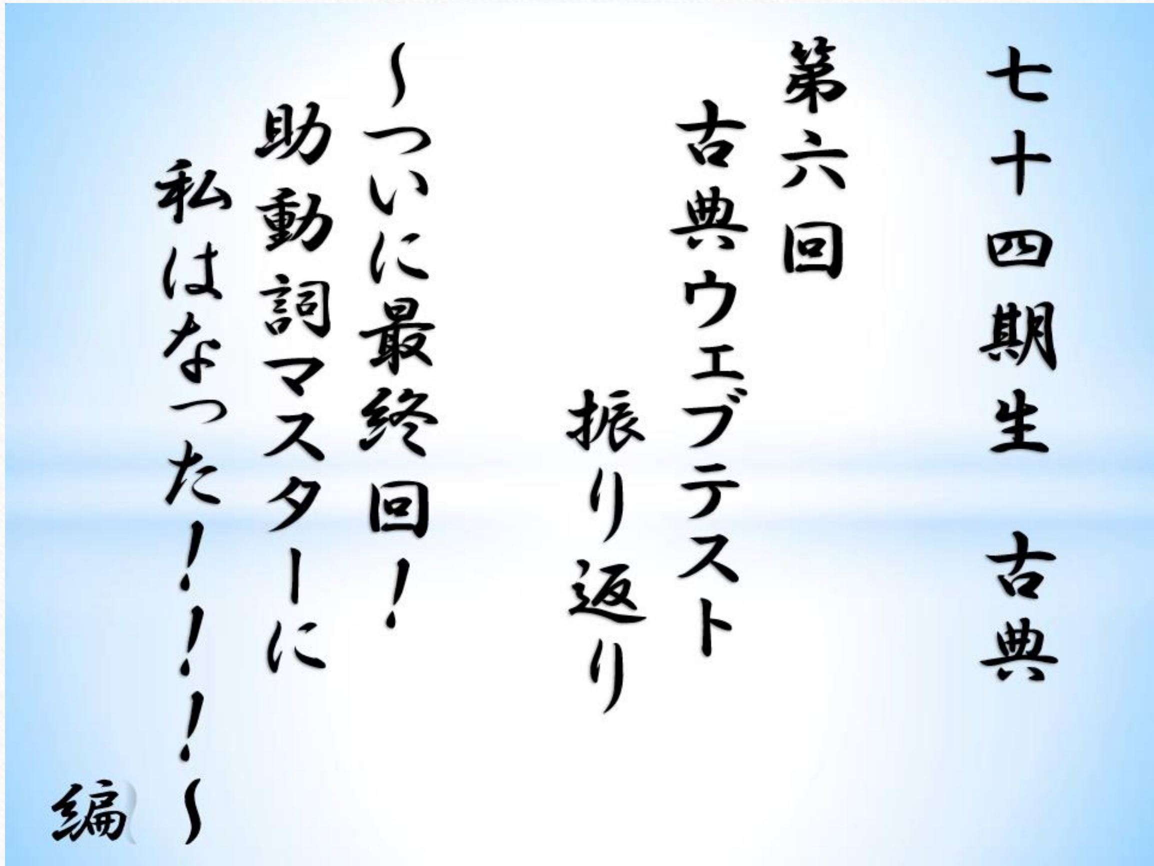
　パワーポイントに音声録音

　ＹｏｕＴｕｂｅで授業配信

　ビデオ録画（解答解説の配信）

⇒　1時間の動画を作成するのに膨大な時間がかかる

⇒　携帯等の小さい画面でみる生徒は負担大



学校再開にあたって

- 分散登校の開始
- 授業日数の確保　⇒　休業日の短縮
　　　　　　　　　⇒　土曜授業の実施
- 学校行事（入学式、体育祭、文化祭、定期演奏会、修学旅行、卒業式など）実施形態等の変更を余儀なくされる

「あきらめない！」
「今できることを！」

第2波、第3波に備えて

- クラウド型教育用プラットフォームを導入し、平常時から少しずつ活用
- 教員に一人一台のChromebookを整備

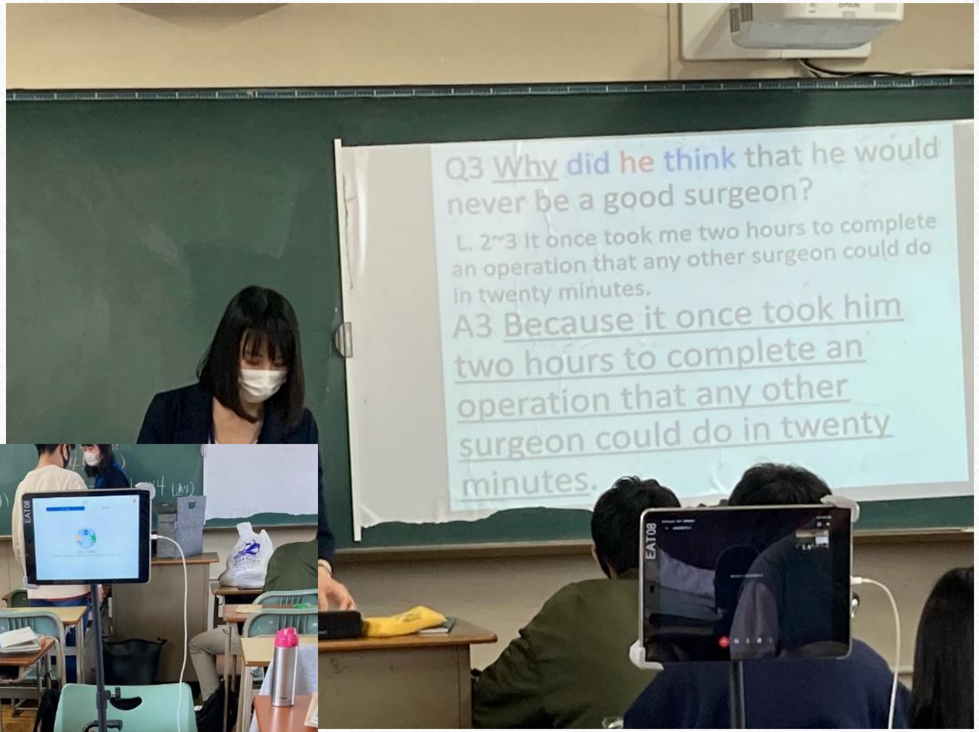
令和３年度

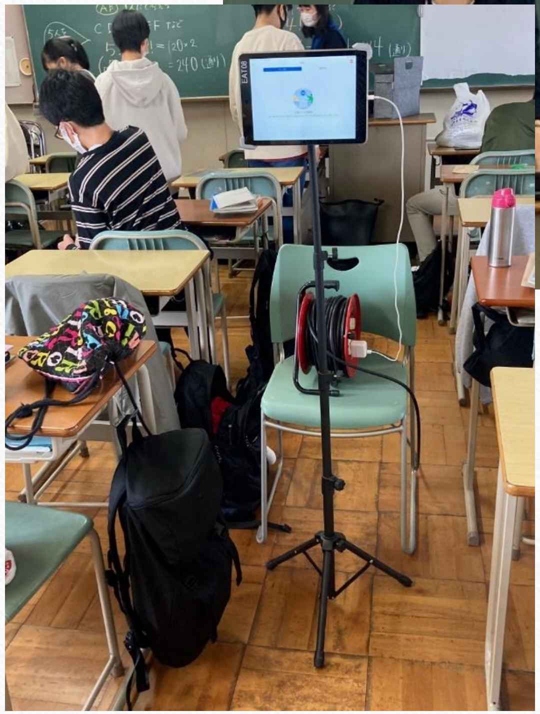
これまでの経験から、そして一人一台端末の活用

新入生･在校生

・3月の合格者説明会で学習支援
クラウドサービス利用に必要となる
アカウント情報等の登録
⇒　**学校との繋がりを早期に確保**

・出席停止（濃厚接触者　等）となる
すべての生徒を対象に、Web会議
システムを利用した授業配信や
課題等の送受信を活用して
オンライン学習の機会を提供





学校教育活動　①
With　コロナ

・生徒一人一台端末の活用

　学校教育自己診断

　自治会役員選挙

　人権学習、探究活動など

学校教育活動　①
With　コロナ

音楽科では

・感染リスクの高い活動「合唱」
・「０」ではなく、少しでも「＋」に
・多重録音アプリを使って、美しいハーモニーを作る

「アンサンブルひとり」

⇒音楽におけるICTの利便性への気づき
⇒生演奏との違い、それぞれの良さを知り、これからの活動に生かす

画像提供：NHK

学校教育活動　①
With　コロナ

音楽科では

・感染リスクの高い活動「合唱」

・「０」ではなく、少しでも「＋」に

・多重録音アプリを使って、美しいハーモニーを作る

「アンサンブルひとり」

⇒音楽におけるICTの利便性への気づき

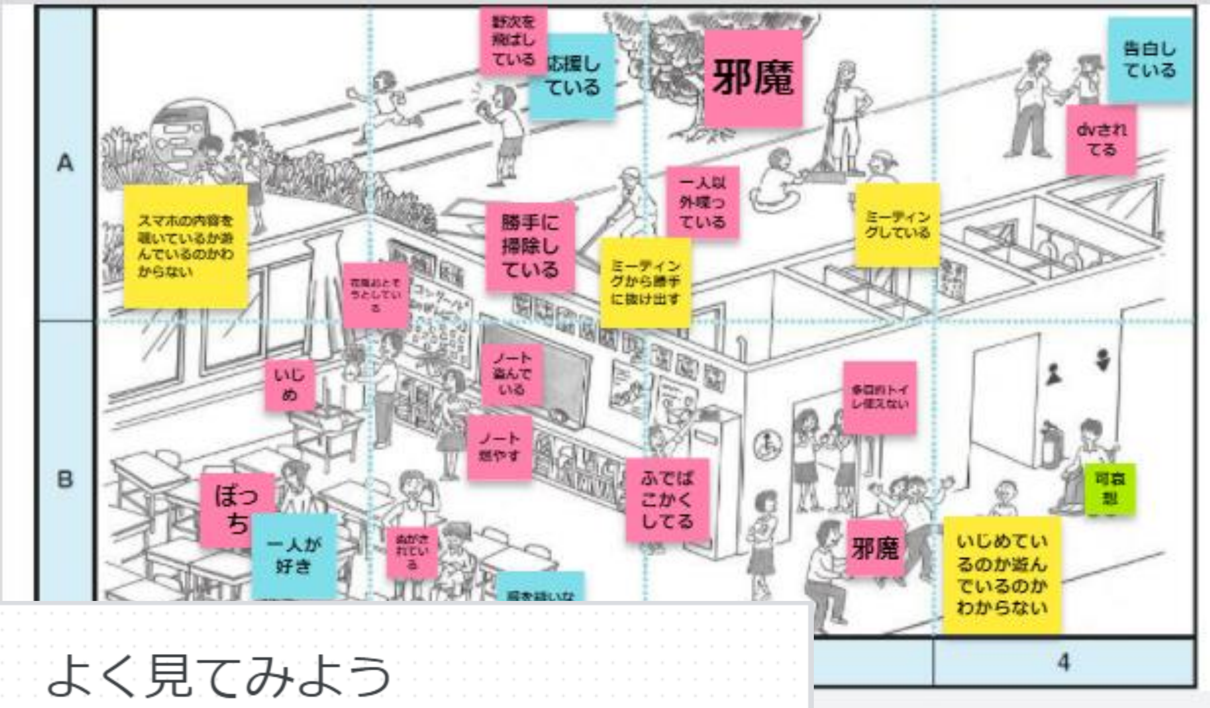
⇒生演奏との違い、それぞれの良さを知り、これからの活動に生かす

学校教育活動　①
With　コロナ

グループワーク

- 密状態になりやすい【グループワーク】
- 一人一台端末を活用し、クラウド上でグループ討議を実施
  （人権学習での一例）

⇒　グループ毎の協議も共有
　　学習の幅に広がりが



よく見てみよう

次のイラストについて、

- ・人権が尊重されている場面
- ・どちらともいえない場面
- ・人権が侵害されている場面

各色の付箋を貼って分けてみましょう。

学校教育活動　②
With　コロナ

生徒ICT委員会の立ち上げ

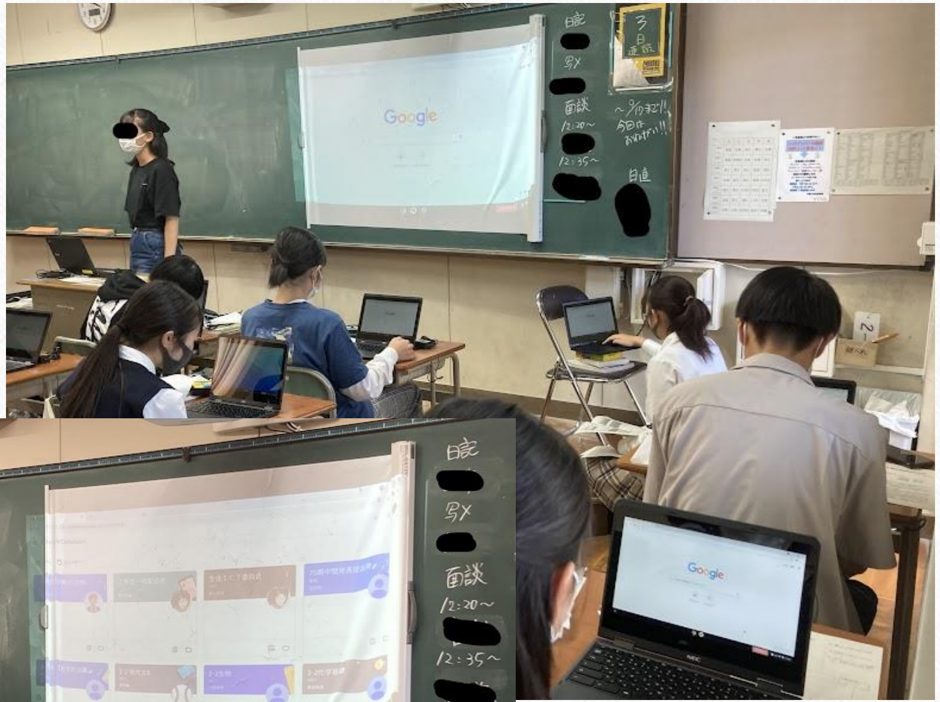
・端末活用を「主体的」に考える
　ときには、教員の補助も！
・端末配付時には、委員が活躍

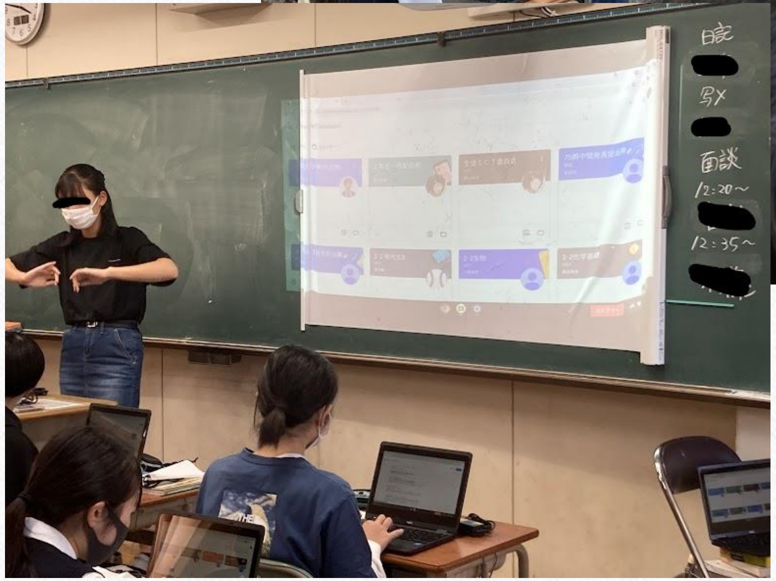
（生徒ICT委員　生徒アンケート結果より）

・役割にやりがいを感じていた生徒は

88.2%

・残り11.8%の生徒の多くは、
　物足りなさを感じ、もっと積極的に
　取り組みたかった・・・との意見



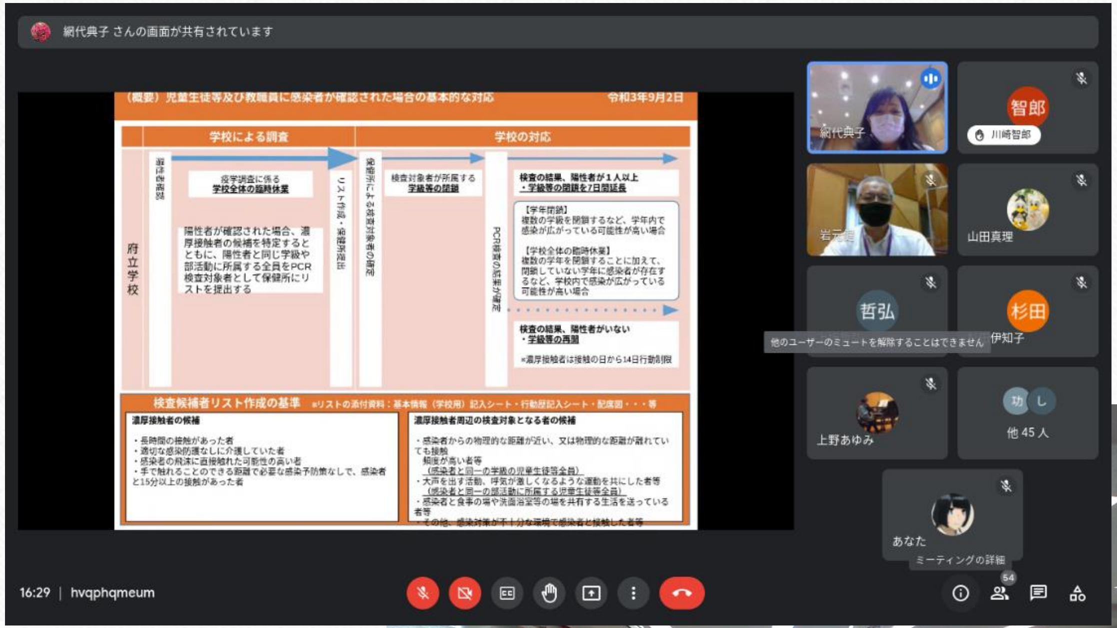


学校教育活動 ③
With　コロナ

教員の意識改革

・教員一人一台の端末を活用
　ペーパーレス職員会議
　GoogleMeetを使って職員会議
　⇒　発言者と参加者の両方を経験
　　（授業者と生徒の両方を経験）
　　　・長時間画面を見続ける疲労
　　　・ハウリング対策が必要

・オンラインを活用して欠席連絡等の
　受付を実施
　⇒　業務改善につながる



第６波への対応
（オンラインの活用）

・臨時休業発生後、速やかにオンラインを活用した取組みを実施（休業期間：１日）

（実施内容）

・Web会議システムを利用したホームルーム

・オンライン学習の実施

ご清聴ありがとうございました。